

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立小松高等学校

11

評 価 実 施 日		平成30年2月13日(火)		
委 員	氏 名	所 属 等		備 考
	池内 修	学校評議員	自治会役員	
	今井 博志	学校評議員	西条市教育委員会教育委員長	
	佐藤 由利	学校評議員	老人保健施設あすか施設長	
	平塚 英治	学校評議員	小松公民館館長	
	目見田 康介	学校評議員	元小松中学校長	
	篠原 栄次	西条市立小松中学校長		
	曾我部 研二	西条市立小松小学校長		
	真鍋 龍彦	P T A 会長		
	池浦 秀美	P T A 副会長		
	今井 徳美	P T A 副会長		
	石田 利恵子	P T A 副会長		
	中川 雄介	P T A 副会長		
	評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 入試制度の改革が言われる中で、生徒の学習についても、学校だけが責任を持つ時代では無いように感じる。家庭や地域で自分をアピールできるような場があれば、生徒自身伸びていくのではないかな。 生徒たちの様子については、公開授業等で見せてもらっているが、落ち着いた様子で、頑張っている姿を見ることができた。 家庭学習の時間が少ない原因としては、スマホ等の使用時間が大きいと思われる。小松高校に限らず、今どきの高校生は、スマホにかなりの時間を奪われているように思う。スマホの使用時間の増加と成績の下降とは、密接な因果関係があるという外部の調査結果もあり、そのあたりの指導を今後ともお願いしたい。 検定結果の項目も高評価となっているが、入試制度改革の話で出たように、英語関係の検定結果も反映させてもらえるといい。 (2) 生徒指導 遅刻、欠席については少ないと思う。これは、日々の先生方の指導のおかげだと感じている。マイカー通学の話が出たが、保護者の立場からすると、学校生活に協力しているという意識があるかもしれないと思われる。それらの内容も考慮すると、保護者アンケートの中の「小松高校へ入学させて良かった」という項目が、高評価であることは納得できる。 (3) 進路指導 インターンシップは、中学校でも「職場体験」という名称で実施しており、ただ興味ある職場を体験できたという形で終わらないよう、高校生の場合は、もう少し自身の進路に直結するような場所で活動できれば、より効果が上がると思われる。 進路指導については、就職・進学率がともに100%という形が一番望ましいわけだが、毎年ほぼ達成されていて、満足のいく結果が出ていると思う。		生徒たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うことを目的としたアクティブ・ラーニングを授業で取り入れながら、自分をアピールすることのできる場面を作っていきたい。 教員の更なる授業力の向上を図るとともに、教員の共通理解のもと、学習態度のみならず基本的生活習慣の確立に努めたい。 自分が興味のあるもの、好きなものに時間が取られるので、学習にも興味が持てるよう、個々に応じた課題を工夫するなど、家庭学習が定着するように努めたい。 1年生は、「全商英語検定試験」に2級が8名、3・4級に各100名以上合格したので2年次には、1級に多数合格するように指導していきたい。 「全商簿記実務検定試験」では、1級に合格者が出ており、商業科も頑張っている。 生徒・保護者との信頼関係を深め、心に響く指導を継続していき、次年度も同じ評価が得られるよう、継続して「地域とともにある学校」づくりに努めたい。 自分の進路に繋がる専門的な分野についてのインターンシップができるように、事前指導を充実させ、職場見学など職業理解の機会を増やしていきたい。 習熟度授業や少人数授業、個別指導等、生徒の進路希望や能力に添った指導形態がうまく機能しているものと思われる。		

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
(4) 特別活動 部活動については、働き方改革に通じるものがあると思うが、教員の多忙感がいかに軽減できるかということが、課題だろうと思われる。とは言え、土日に関係なく熱心に指導していただいている先生方にどのように対処していくべきかは、今後も大きな問題だと思われる。教員数の増加が一番早い解決策かと思うが、それがまず望めない現状では、本当に難しい問題だと思う。各校での取組として、よく聞くのは、部活動の精選と称して部の数を減らすことを検討しているようだが、これも簡単では無く、幅広く意見を聞きながら、慎重に審議していくことが重要だろうと思う。 (5) 広報・地域協働、人権・同和教育 公民館の館長という立場から、地域に開かれた学校教育の推進ということで、昨年「地域未来塾」を実施した。その際には、小松校生にも参加してもらうなど協力してもらったことに、大変感謝している。基本的には、中学生の勉強会ではあるが、高校生には継続して参加してほしいと思っているので、協力をお願いしたい。また、公民館の他の行事へも多くの生徒達に参加願えればと思っている。 HPについては、先生方のアンケートでは高評価が出ているが、保護者の結果はあまり評価していないようである。もう一工夫をお願いしたい。 HPについては、学校行事等を知るためにも大切なものだと思うが残念ながら、情報発信のタイミングが遅すぎる。行事予定等は、月初めには、アップしてもらいたい。 人権・同和教育については、命を大切にすることに直結することもあり、普段からよく指導されていると感じる。 ライフデザイン科では、ポスターが大変いい印象を与えていると思う。これからも地域に根差した教育を継続してほしい。 (6) その他 雨の日等でのマイカー通学が増加しているように思う。交通安全の面からも、もう少し減少してほしい。 ただ、これも生徒が甘えているからと、一方的に決めつける訳にはいかない。家庭でしっかりと指導ができない面もあるので、PTAとしても、もっと保護者に積極的に働きかけていればと思う。 学校近くの交差点で、信号機が設置される予定だが、信号機の運用が始まると、また新たな渋滞等の問題が発生しないかと心配している。	部活動の指導は、どの部も月に4日以上休養日を設けており、教員も生徒も休養日の確保に努めている。勤務時間も、毎月勤務時間を把握することでオーバーワークにならないよう注意をしているところである。しかし、校務分掌の兼務も多く、公平な校務の分担には課題が残されているので、課間の調整も行いながら特定の職員に仕事が集中しないよう、適材適所の視点も含めて適正な調整に努めたい。また、部活動の統廃合や外部指導者制度の導入などは、今後検討していきたい。 地域の様々なボランティア活動や行事等に積極的に参加することをおして、主体性を持って地域に貢献できる生徒の育成に努めたい。 ホームページは、情報発信の有効な手段であるので、①事前にお知らせするもの、②タイムリーなもの、③振り返るものなど、その用途に合わせた適切な発信になるよう気を付けたい。 人権・同和教育研修会等を踏まえ、保幼・小・中・高の連携を一層進め、地域全体の人権・同和教育の推進に努めたい。 ポスターデザインは、毎年変わるので高評価をもらえるように作製したい。 文書等を通じて保護者に理解を求め、学校運営に協力していただけるように努めたい。
2 学校運営への提言 今年は、110周年行事や家庭科の全国大会ありと大きな行事が数多くあった関係で、学校内が落ち着かない雰囲気にならないかかなり心配した。しかし、校長先生の学校経営方針等をお聞きし、幅広い学校経営が行われていることが分かるにつれ、安心した。入学式時に来賓祝辞の中に、小松藩のことがあったが、学校通信等で校長先生が、うまく説明されていて、大変感銘を受けた。 アンケート結果から2年生の意識の低さが少し気になる。どの学校にも少なからず見受けられる傾向だと思うが、しっかりと目標を見つけて頑張ってもらいたいものだ。	登校・下校指導や生徒への啓発を通じて、交通ルールの遵守や交通マナーの向上に対する意識を高める指導を継続していきたい。 学校教育の充実、個々の教職員の努力によって図られるものなので、今後も校内研修会等に力をそそぎ、校務分掌を適切に分担させて校内体制を整備し、伝統を継承しつつ、魅力あふれた特色ある学校経営にあたっていきたい。 教員の共通理解のもと、早くから一人一人の目標を設定するとともに、学習意欲等の向上につなげるための学校経営に一層努めたい。